

障がいのある方との共生に関する アンケート

・該当する回答に☑を記入してください

* 必須の質問です

問1. あなたについておたずねします。（性自認と年齢について）

1. 性自認（性別）をお答えください。*

1つだけマークしてください。

- 男性
- 女性
- どちらでもない

2. 年齢層を選択してください。*

1つだけマークしてください。

- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代以上

3. 問2. あなたは、障がいがありますか？ *

この調査において「障がいのある人」とは、精神や身体の器官が何らかの原因で本来の機能を果たすことができず、そのことにより継続的に日常生活または社会生活に制限を受ける状態にある人をいい、医師の診断・通院、障害者手帳の有無は問いません。

1つだけマークしてください。

- ある 質問4にスキップします
- わからない（あるかもしれない） 質問4にスキップします
- ない 質問10にスキップします

質問4にスキップします

問2について「ある」または「わからない（あるかもしれない）」と答えた方へ

4. 問3. あなたの障がい種別は次のうちどれですか？（あてはまるものすべてに☑）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 肢体不自由
- 視覚障がい
- 聴覚障がい
- 言語障がい
- 内部障がい
- 知的障がい
- 精神障がい
- 発達障がい
- 難病
- その他: _____

5. 問4. あなたの障がいはいつからのものですか？ *

1つだけマークしてください。

- 生まれたときから
- 0歳～9歳
- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代以上

6. 問5. あなたは、障がいがあって不便さや困ったことを感じたことがありますか？ *

1つだけマークしてください。

- ある 質問7にスキップします
- ない 質問15にスキップします

問5について「ある」と答えた方へ

7. 問6. 障がいがあって不便や困ったことがあるときに、周りの人に声をかけたりして助けを求めますか？ *

1つだけマークしてください。

- はい 質問8にスキップします
- いいえ 質問9にスキップします

問6について「はい」と答えた方へ

8。 問7. 助けを求める相手はどのような人ですか？ *

1つだけマークしてください。

- 知っている人にも、知らない人にも、手助けをお願いする
質問 15 にスキップします
- 知っている人だけに手助けをお願いする 質問 9 にスキップします

問6について「いいえ」と答えた方と、問7について「知っている人だけに手助けをお願いする」と答えた方へ

9。 問8. 知らない人に助けを求めない・求められない理由をお聞かせください。 *

1つだけマークしてください。

- 知らない人には、お願いしにくいから 質問 15 にスキップします
- 以前、手助けしてもらえなかったことがあるため、あきらめているから
質問 15 にスキップします
- 自分のことは自分でしたい、しなければと思うから
質問 15 にスキップします
- 助けを求めるくらいなら、できないままでよいと思うから
質問 15 にスキップします
- その他: _____

質問 15 にスキップします

問2について「ない」と答えた方へ

10. 問9. あなたの身近に障がいのある方はいますか？ (いたことがありま *
すか) (あてはまるものすべてに☑)

当てはまるものをすべて選択してください。

- 自分自身・家族など、身近な親族にいる (いた)
 学校、職場、近所にいる (いた)
 趣味などの活動にいる (いた)
 支援する仕事や団体で関わっている (いた)
 身近にいたことはない

11. 問10. あなたは、障がいのある方が困っているような場面で、手助け *
しようと思いますか？

1つだけマークしてください。

- 思う
 あまり思わない
 思わない
 わからない

12. 問11. あなたは、障がいのある方が困っているような場面で、手助け *
したことがありますか？

1つだけマークしてください。

- ある 質問13にスキップします
 ない 質問14にスキップします

問11について「ある」と答えた方へ

13. 問1 2. 手助けをしたのは、どのような理由からですか？ *

1つだけマークしてください。

- 近所や親せき付き合いなどで、手助けをするのが自然な環境だったから
質問 15 にスキップします
- 困っているときはお互いさまという気持ちから
質問 15 にスキップします
- 障がいのある人を手助けするのは当たり前のことだと思うから
質問 15 にスキップします
- 手助けを求められたから 質問 15 にスキップします
- その他: _____

問1 1 について「ない」と答えた方へ

14. 問1 3. 手助けをしたことがないのは、どのような理由からですか？ *
(あてはまるもの1つに☑)

1つだけマークしてください。

- どのように接したらよいかわからなかったから
- お節介になるような気がしたから
- 他の誰かが手助けすると思ったから
- 自分にとって負担になるような気がしたから
- 関わるのが面倒だと思ったから
- 自分のことは自分ですべきと思ったから
- 困っている障がいのある方を見かける機会がなかったから
- その他: _____

以下の問いは問2について障がいがある または「わからない(あるかもしれない)」 / 「ない」と答えた方への質問です

我が国では、障がいのある人もない人も、互いにその人らしさを認め合いながら共に生きる社会(共生社会)を実現するため、「障害者差別解消法」(平成28年4月施行、令和3年6月改正法公布)を定めています。問1 4から問1 8はその法律に関することをお尋ねします。

15. 問14. 障がいのある・なしに関わらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことを目指す「共生社会」という言葉を知っていますか？ *

1つだけマークしてください。

- 知っている
- 言葉だけは聞いたことはある
- 知らない

16. 問15. 国や地方公共団体では、「共生社会」の考え方に基づいて、障がいのある人もない人も地域で共に関わり合いながら暮らし生活していく環境づくりを進めています。あなたは、この「障がいのある人が身近で普通に生活しているのがは当たり前」という考え方について、どう思いますか？ *

1つだけマークしてください。

- 当たり前だと思う
- 当たり前だと思わない
- わからない

17. 問16. 障がいのある人とない人が同じように生活するためには、例えば、受付窓口で耳の不自由な方に筆談で対応したり、車いすの方の手が届かないところにある商品を店員が代わりに取ってあげたりするなど、さまざまな配慮や工夫が必要になることがあります。あなたは、もし、こうした配慮や工夫が行われなかったとしたら、それが「障がいを理由とする差別」に当たる場合があると思いますか？ *

1つだけマークしてください。

- 差別に当たる場合があると思う
- 差別に当たる場合があると思わない
- わからない

18. 問17. 令和3年6月公布の改正「障害者差別解消法」が、令和6年4月 *
月に施行されます。これにより、行政だけでなく、民間事業者に対しても、障がい者から意思表示があった際に、過重な負担とならないときは必要かつ合理的な配慮をするよう努めることが義務化されます。あなたは、この「合理的配慮」という考え方について、知っていましたか

1つだけマークしてください。

- 合理的配慮の考え方について知っている
 合理的配慮という言葉は聞いたことがある
 知らない

19. 問18. 「合理的配慮」とは、障がいのある方が社会の中で感じる困り *
ごと・障壁を取り除くための調整や変更のことですが、行政や民間事業者が実施すべき「合理的配慮」はどのようなものだと思いますか（あてはまるもの全てに☑）

当てはまるものをすべて選択してください。

- 車いす利用者のために携帯スロープを準備しておく
 肢体不自由の人に、高い所に陳列された商品を取って渡す
 視覚障がいの人に拡大文字や点字の資料を用意したり、資料の内容を読み上げて伝えたりする
 視覚障がいの人に、パソコンなどで読上機能を使えるように資料をテキスト形式データで提供する
 視覚障がいのある従業員の通勤に、毎日同行する体制を会社がつくる
 聴覚障がいの人に、筆談、手話など、相手に分かりやすい表現を使って説明をする
 字幕や手話などの見やすさを考慮して座席配置を決める
 知的障がいの人に、簡潔な文章で資料を作成したり、文章にルビ（ふりがな）をつける
 難聴者がいるときには、ゆっくりはっきりと話したり、複数の発言が交じり合わないようにしたりする
 店舗の入り口にスロープを設置するため、近接する土地を購入する

- 20。 問19. 国は、障がいや障がいのある方に関する理解と関心を深め、障 *
がいのある人の社会参加への意欲を高めるために、毎年12月3日から
9日までの1週間を「障がい者週間」と定めています。このことを知っ
ていますか？

1つだけマークしてください。

- 知っている
 知らない

- 21。 問20. 加茂市では、手話を、音声言語と対等な言語であると認める *
「手話言語条例」を制定しています。このことを知っていますか？

1つだけマークしてください。

- 知っている
 知らない

- 22。 問21. 施設等の駐車スペースで、主に、歩行が困難な障がいを持つ方 *
が優先的に利用できる「おもいやり駐車場制度」は知っていますか？

1つだけマークしてください。

- 知っている
 知らない

- 23。 問22. 障がいのある方が任意で持つ「ヘルプマーク・カード」につい *
て知っていますか？

1つだけマークしてください。

- 知っている
 知らない

24. 問23. あなたは、世の中には障がいのある人に対して、差別や偏見があると思いますか？ *

1つだけマークしてください。

- あると思う
- ないと思う
- どちらともいえない

25. 問24. あなたは、障がいのある人のために事業所や民間団体が行う活動について、どのようなことを希望しますか？（あてはまるもの3つまで☑） *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 障がいのある人の雇用の促進
- 障がい者になっても継続して働くことができる体制の整備
- 障がいのある人が働くにあたっての働きやすい事業所の環境整備
- 障がいによる不安や悩みを解消する相談体制の整備
- 職場での事故防止体制の充実
- 障がいのある人や障がいそのものへの理解を深めるための研修の実施
- 障がいのある人に配慮した商品開発
- 障がいのある人の生涯学習、スポーツ、文化、レクリエーション活動に対する支援
- 障がいのある人のアート作品展などの開催
- 障がい者団体に対する経済的支援
- その他: _____

26. 問25. あなたは、障がいのある人に関する国や地方公共団体の施策のうち、特に、加茂市が力を入れる必要があると思うものは何ですか？
(あてはまるもの3つまで ㊴)

当てはまるものをすべて選択してください。

- 障がいのある人への理解を深めるための啓発・広報活動
- ホームヘルプサービスなどの在宅サービスの充実
- 短期入所サービスの充実（障がいのある人を在宅介護する人の休息のため）
- 生活の安定のための年金や手当の充実
- 障がいのある人に配慮した住宅や建物の整備
- 障がいのある人に配慮した道路や交通機関の整備
- 障がいのある子どもの相談、支援体制の充実
- 障がいのある人の生涯学習やサークル活動の充実
- インターネットなどITサービスを習得する機会の充実
- 障がいのある人の金銭管理をサポートする制度の充実
- 障がいに応じた職業訓練の充実や雇用の確保
- 保健・医療サービスやリハビリテーションの充実
- 点字、手話、字幕放送などによる情報提供の充実
- その他: _____

27. 問26. 「しょうがい」の表記には、さまざまあります。加茂市では法令などで「障害」と表記する場合を除いて、「障がい」の表記を使用しています。あなたは、どの表記がよいと思いますか？

1つだけマークしてください。

- 障害
- 障がい
- しょうがい
- どれでもよい

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

Google フォーム